

次期一般廃棄物最終処分場について 市民説明会 質疑応答内容

日 時：令和4年8月23日（火） 午後7時00分から午後8時5分まで

場 所：麻溝公民館 大会議室

【説明内容】

- (1) 一般廃棄物最終処分場の現状について
- (2) 次期一般廃棄物最終処分場の候補地選定について

【質疑応答】

◎市民 ●清掃施設課

- ◎ 最終処分場は、平面的な利用だと広大な敷地が必要となる。立体的な施設の整備方法は考えられないのか。跡地利用についても、立体的に使用すれば避難場所の高台などに利用できるかと思われる。
また、最終処分場の整備については、ごみの減量化を含めた検討が必要である。
- 立体的な整備方法等、いただいたご意見のように、色々な視点から検討することが必要だと考えている。
また、跡地利用について、避難場所としての活用など、地域の意見を含めた検討を行っていきたい。
ごみの減量化は、次期最終処分場の検討に限らず、現在の最終処分場についても延命化につながる重要な取組であるため、今後も引き続き検討が必要である。
- ◎ ごみ単体ではなく、市として「防災に強いさがみはら」という視点やまちづくり全体として考えていただきたい。防災上、高台が必要であるため、ごみを埋め、跡地利用するというような考え方をお願いしたい。
- 意見として頂戴する。
- ◎ 評価の中でA～Cとあるが、評価基準はどのようになっているのか。
また、候補地No.9については、数少ない緑地となっている上、今後、土地区画整理事業が進められるが、その隣地に最終処分場をもってくるのはどうかと考えている。
最後に、津久井地域のごみは、どのような流れになっているのか。
- 評価基準については、優れているものをA、中程度をB、それ以外をCとしている。同じAであっても評価項目により差があり、AやCの数により優先順位はないことから、いずれの候補地も整備の可能性があると考えている。
候補地No.9についてのご質問は、ご意見として頂戴する。
また、津久井地域の一般ごみは、津久井クリーンセンターを経由し、北清掃で焼却、焼却灰は南清掃工場に運搬し、スラグ化するため再度焼却している。現在の最終処分場は南区麻溝台の1箇所である。
- ◎ 候補地No.8について、整備エリアをはっきりしていただきたい。
- 現段階では候補地としておよそのエリアが答申されたため、具体的な対象区域などは決まっていない。
- ◎ 地権者としては、自分の土地が範囲に含まれているか気になるので、はっきりと示していただきたい。
- 今後、検討が進めば範囲が確定されるが、現段階での提示はできない。
- ◎ 今後も説明会は予定されているのか。
- 今後も開催する予定であり、広報紙やホームページでお伝えする。

以 上